

一 般 講 演

講演 12分(1 鈴 10分、2 鈴 12分) 討議 3分(3 鈴 15分)

3月22日(水)

A 会 場 (A13)

午前の部(9:00~12:00)

- 9:00 A101 有機化学物質の環境動態に及ぼす海水塩分の影響評価
魏永芬、西森基貴*、小原裕三*
(岐阜大学流域圏科学研究センター、*農業環境技術研究所)
- 9:15 A102 多変数線形自由エネルギー相関に基づいたマルチメディアモデルによる農薬の環境動態評価
小原裕三、西森基貴、魏永芬*、石原悟、大津和久、横山淳史、堀尾 剛
(農環研、*岐阜大学流域圏科学研究センター)
- 9:30 A103 農薬等残留性有機化学物質の全球輸送モデル(NIAES-MMM)の開発
西森基貴、魏永芬*、小原裕三
(農業環境技術研究所、*岐阜大学流域圏科学研究センター)
- 9:45 A104 散布農薬の初期大気移行及び拡散量評価
北條敏彦、宮崎さとえ、古川雅也、安納弘親、小原裕三*
(株式会社エスコ、農業環境技術研究所*)
- 10:00 A105 黒ボク土露地畑における埋設型ライシメータ法を用いた1,3-ジクロロプロペン鉛直浸透量の測定
山本幸洋*、金子文宜、大塚英一**、松丸恒夫
(千葉農総研、*現長生農林振興センター、**現病害虫防除所)
- 10:15 A106 除草剤アトラジンの土壌吸着におよぼす有機物施用の効果
江波戸宗大、黒川俊二、菅野勉、森田聡一郎(畜産草地研究所)
- 10:30 A107 数種水田用除草剤の底質への吸脱着に対する底質有機物の影響
河上強志、殷熙洙*、石坂真澄*、遠藤正造*、田村憲司、東照雄
(筑波大学生命環境科学研究科、*農業環境技術研究所)
- 10:45 A108 畑およびゴルフ場で使用される農薬の土壌中残留性の評価
鈴木俊也、宇佐美美穂子、永山敏廣
(東京都健康安全研究センター・多摩支所)
- 11:00 A109 水田土壌由来微生物群による芳香族塩素化合物の嫌気分解
吉田奈央子¹、吉田祐希奈²、半田木綿子³、金 孝根⁴、市原茂幸²、片山新太^{1,3} (¹名大・エコトピア科学研究所、²名城大・農、³名大・工・院・社会基盤工学、⁴韓国人参煙草研究所)

- 11 : 15 A110 新規複合微生物系による塩素化及びメチルチオ化トリアジン農薬の同時分解
- 複合分解菌集積木質炭化素材の開発と評価 -
山崎健一^{1,2}、高木和広^{1,2}、原田直樹³、藤井邦彦⁴、内村泰¹
(¹東京農業大学、²農業環境技術研究所、³興和(株)総研、⁴WDB(株))
- 11 : 30 A111 哺乳動物薬物代謝酵素チトクローム P450 遺伝子を付与・発現した形質転換
植物による環境負荷化学物質のファイトレメディエーション
岡夏世¹、乾秀之²、大野清春^{1,2}、大川秀郎^{1,2,3} (¹神戸大・自然科学、²
遺伝子実験センター、³現福山大・グリーンサイエンス研究センター)
- 11 : 45 A112 CYP2B6 導入イネによる除草剤メトラクロールの浄化
川東広幸、廣瀬咲子、大川秀郎*、大川安信**
(生物資源研究所、*福山大学、**農林水産省技術会議)

B 会 場 (A12)

午前の部 (10 : 00 ~ 12 : 00)

- 10 : 00 B101 ブームスプレーヤ防除におけるドリフトレスノズルの評価
小林富雄、鈴木尚俊 (長野県農業総合試験場)
- 10 : 15 B102 *Pseudomonas fluorescens* 剤のジャガイモマイクロチューバー紙筒移植栽培
への処理方法と塊茎の青枯病菌潜在感染抑止効果について
秋津教雄、中保一浩*、前川義雄、仲川晃生* (多木化学(株)・*中央農研)
- 10 : 30 B103 農薬による影響評価のための河川モデル生物膜の構築
井藤和人、林 昌平、巢山弘介、山本広基 (島根大学・生物資源)
- 10 : 45 B104 ヌカエビ急性毒性試験 クロロフェノール類の急性毒性
刀祢英、松本建、佐藤保夫、斎藤穂高 ((株)三菱化学安科研 横浜研)
- 11 : 00 B105 群馬県富士見村および太田市金山自然公園においてスパウターで松林に散布
されたマツグリーン液剤 2 の飛散状況ならびに健康影響調査
市川有二郎、盛山充、本山直樹 (千葉大・園)
- 11 : 15 B106 静岡県新居浜において無人ヘリコプターで松林に散布されたスミパイン乳剤
の飛散状況ならびに健康影響調査
市川有二郎、 本山直樹 (千葉大・園)
- 11 : 30 B107 東京都内で生産された農産物における農薬残留実態
池田悠里、橋本良子 (東京都農林総合研究センター)
- 11 : 45 B108 農薬に対する意識調査
馬場洋子 ((社)緑の安全推進協会)

午後の部 (13 : 30 ~ 16 : 45)

- 13 : 30 B201 Induction of *Plutella xylostella* (L.) Cytochrome P450, CYP6BF1v4, by Permethrin
Bautista, M.A.M., T. Tanaka and T. Miyata
(Lab. Appl. Entomol., Grad. Sch. Bio-Agric Sci., Nagoya U.)
- 13 : 45 B 202 ウエストナイル熱媒介蚊のピレスロイド剤抵抗性とマイクロアレイ法を用いた抵抗性機構の解明
葛西真治、駒形修、正野俊夫、富田隆史 (感染研・昆虫医科学部)
- 14 : 00 B203 幼若ホルモンエステラーゼを過剰発現するトランスジェニックカイコの作出と利用
塩月孝博、譚 安江、田中弘正、田村俊樹 (農業生物資源研)
- 14 : 15 B204 カシ米尔コクヌストモドキにおけるストレス反応制御機構チラミン/オクトパミン受容体の関与
平島明法、松本 正* (九大院農、*赤塚植物園)
- 14 : 30 B205 イエバエ GST6B の特異的基質と計算化学による活性中心の構築
箕川 剛、須恵雅之、宮本 徹 (東京農大・生物応用化学)
- 14 : 45 B206 イエバエ抑制性グルタミン酸受容体のCl⁻チャンネル阻害剤に対する感受性に影響を及ぼすイオンチャンネル部のアミノ酸置換
石田知春、伊原誠、江口陽子、松田一彦、酒井一樹*、尾添富美代*、尾添嘉久*
(近大院・農・応生化、*島根大・生資科・生命工)
- 15 : 00 B207 Loop E 領域の構造変化により引き起こされる $\alpha 7$ ニコチン性アセチルコリン受容体のアゴニスト認識様式の変化
下村 勝、佐藤 仁、松田一彦、赤松美紀*、Sattelle, D. B**
(近大農・応生化、*京大院・農・地環科、**Oxford大)
- 15 : 15 B208 新規殺虫剤フルベンジアミド(フェニックス[®])に関する研究 (第 5 報)
-³H-フルベンジアミドのハスモンヨトウ膜画分に対する特異的結合-
正木隆男、八十川伯朗、遠西正範、西松哲義、元場一彦、廣岡卓、Ulrich Ebbinghaus-Kintscher*、Peter Luemmen*、Ruediger Fischer* (日本農薬株、*Bayer CropScience AG)
- 15 : 30 B209 *Trichoderma asperellum* SKT-1 株によるイネ種子伝染性病害の生物防除
- *T. asperellum* SKT-1 株によるイネ種子伝染性病害防除の作用機構 -
渡辺哲、熊倉和夫、藤川研人、野崎和俊、三田地貴史*、有江力*、寺岡徹* (クミアイ化学工業生科研、*東京農工大学農学部)
- 15 : 45 B210 新規殺菌剤 KIF-7767 の作用機構に関する研究
片岡智、高垣真喜一、中野達生、野崎和俊、角康一郎、清水力
(クミアイ化学)
- 16 : 00 B211 Tolnifanide (TF-991) の作用機構 (2) - 脂質代謝への影響 -
中野元文、古川真梨子、田中千尋、宮川恒、奥野哲郎 (京大院農)

- 16 : 15 B212 イネいもち病防除剤チアジニルの SAR 誘導機構の解析
 安田美智子^{1,2}、吉田茂男³、工藤俊章¹、仲下英雄¹
 (¹理研・中央研、²前川製作所、³理研・植物センター)
- 16 : 30 B213 セジロウンカ産卵に対する日本型イネの殺卵機構の解明
 市原由希子、吉固有紀、渡邊雄太、山田直隆、安井秀、桑野栄一
 (九大院・農)

C 会 場 (A11)

午前の部 (10 : 00 ~ 12 : 00)

- 10 : 00 C101 ミトコンドリア複合体-I 阻害剤アセトゲニンの阻害機構研究 :
 スパーサー部の機能
 安部真人、久保明奈、西岡孝明、三芳秀人 (京大院農・応用生命)
- 10 : 15 C102 新規アセトゲニン mimics (lac-アセトゲニン) の合成と作用機構研究
 一丸直哉、妹尾麻衣、西岡孝明、三芳秀人 (京大院農・応用生命)
- 10 : 30 C103 Synthesis and Structure-Activity Relationships of 1-Phenyl-1*H*-
 1,2,3-triazoles as Selective Insect GABA Receptor Antagonists
 Mohammad Sayed Alam, Ryu Kajiki, Hiromi Hanatani, Xiangyu
 Kong, Fumiyo Ozoe, Yoshihisa Matsui, Fumio Matsumura*, and
 Yoshihisa Ozoe (Dept. Life Sci. Biotechnol., Fac. Life Environ. Sci.,
 Shimane University; *Dept. Environ. Toxicol. & Center Environ.
 Health Sci., Univ. Calif., Davis)
- 10 : 45 C104 光学活性なエチル 4-(2-ベンジルアルキルオキシ)ベンゾエート類の合成と抗
 幼若ホルモン活性
 芦邊希代、白橋浩光、山下春菜、古田賢次郎、西川誠志、山田直隆、
 桑野栄一 (九大院・農)
- 11 : 00 C105 脱皮ホルモンアゴニスト α -acylamino ketone 類の合成と昆虫細胞に対する
 活性
 尾崎俊亮、渡辺文太、原田俊幸、小倉岳彦、中川好秋、宮川恒
 (京大院・農)
- 11 : 15 C106 ステロイド型脱皮ホルモンアゴニストのショウジョウバエ脱皮ホルモン受容
 体に対する結合様式
 - CoMFA およびタンパク質立体構造予測ツール(PDFAMS)を用いた考察 -
 原田俊幸、新井宏和、渡辺文太、赤松美紀、中川好秋、宮川恒
 (京大院・農)
- 11 : 30 C107 脱皮ホルモンアゴニストのホルモン活性測定
 - コロラドハムシ培養細胞を用いてのレポータージーンアッセイ -
 小倉岳彦、中川好秋、宮川恒 (京大院・農)

- 11 : 45 C108 半翅目昆虫由来エクダイソンリセプターおよびウルトラスピラクルのクロー
 ニングとそれらを利用した殺虫スクリーニング系の開発
 加藤康仁、藤井保男、榊井昭夫、野田博明*
 (日本化薬(株)アグロ研、*農業生物資源研究所)

午後の部 (13 : 30 ~ 15 : 45)

- 13 : 30 C201 ヒメハマキ類7種からの性フェロモンの同定
 Le Van VANG、山本雅信、安藤 哲(農工大院 BASE)、駒井古実(大
 阪芸大)、石谷正博(青森県 畑園試)、田中道典(横浜植防)
 金城政勝(琉球大 熱生研)
- 13 : 45 C202 ソルガムが分泌する根寄生植物発芽刺激物質ストリゴラクトン
 上岡弘明、Ayman A. Awad、楠本 大、竹内安智、米山弘一
 (宇都宮野大学生植物科学研究センター)
- 14 : 00 C203 双子葉植物が生産・分泌する根寄生植物発芽刺激物質ストリゴラクトン
 米山香織^{1,2}、関本 均²、竹内安智³、米山弘一³
 (¹東京農工大大学院連合農学研究科、²宇都宮大学農学部、³宇都宮大
 学野生植物科学研究センター)
- 14 : 15 C204 エンバクのアイトアレキシン、アベナンスラミド類の二量体の構造解析
 岡咲洋三¹、石原亨¹、石塚晶啓¹、西岡孝明¹、岩村倣²
 (¹京大院農、²近畿大生物理工)
- 14 : 30 C205 ジャスモン酸を処理したイヌタバコ葉から放出される揮発性物質の分析
 田母神 繁、西澤知之、野間正名
 (秋田県立大学・生物資源科学部)
- 14 : 45 C206 糸状菌 *Aspergillus fumigatus* の生産する殺線虫物質
 林亜紗実、藤岡昭三¹、木村靖夫(鳥取大・農、¹理研)
- 15 : 00 C207 未同定菌 S331 の生産する殺線虫物質の単離
 大谷晃平、藤岡昭三¹、木村靖夫(鳥取大・農、¹理研)
- 15 : 15 C208 新規 β -*N*-acetylglucosaminidase 阻害剤 HU-1 の阻害特異性
 臼木博一、仁戸田照彦、神崎 浩(岡山大院・自然科学)
- 15 : 30 C209 新規 β -*N*-acetylglucosaminidase 阻害剤 HU-1 の構造解析
 臼木博一、仁戸田照彦、山路奈保子*、岩下 孝*、小村 啓*、神崎 浩
 (岡山大院・自然科学、*サントリー・生有研)

3月23日(木)

A 会場 (A13)

午前の部(9:30~12:00)

- 9:30 A301 イタリアの水田環境における水田農薬動態予測モデル SWAGW, RICEWQ, PCPF-1 の比較・評価
Dimitrios G. Karpouzas¹、Stefano Cervilli²、渡邊裕純³、Ettore Capri⁴ (¹シサリー大学・ギリシャ、²国立研究評議会(CNR)・イタリア、³農工大、⁴聖心カトリック大学・イタリア)
- 9:45 A302 Determination of Fate and Transport of Simetryn using Paddy Field Lysimeters
Thai Khanh PHONG, Hirozumi WATANABE, Taku NISHIMURA, Koki TOYODA
(Tokyo University of Agriculture and Technology (TUAT))
- 10:00 A303 Probabilistic assessments of management factors affecting pesticide runoff from paddy watershed
Vu Hong Son¹, Hirozumi Watanabe¹, Satoru Ishihara²
(¹Tokyo University of Agriculture and Technology, ²National Institute of Agro-Environmental Science)
- 10:15 A304 PCPF - RIVWQ シミュレーションモデルを用いた河川中の農薬濃度評価 - 環境省のモデルシナリオをもとにしたケーススタディ
田中 拓¹、Amy M. Ritter²、Vu Hong son¹、渡邊裕純¹
(¹東京農工大学 ²WATERBORNE ENVIRONMENTAL, INC.)
- 10:30 A305 水田用農薬の河川増水時における流出特性
中野亜弓、折坂光臣、築地邦晃¹
(岩手県農業研究センター、¹久慈農業改良普及センター)
- 10:45 A306 ベンゾピシクロンの水稲における吸収、移行および代謝
中原志郎、小松原憲一、渡辺司(エス・ディー・エス バイオテック)
林 靖、佐藤清(残留農薬研究所)
- 11:00 A307 殺菌剤アミスルプロムのラットにおける代謝
井島康行、小川和雅、鬼塚博
(日産化学工業株式会社、生物科学研究所)
- 11:15 A308 新規殺虫剤フロニカミド (IKI-220) の好氣的土壌中における代謝
多田康臣、寛座俊孝、酒井綾子、加藤康之 (石原産業・中央研究所)
- 11:30 A309 新規殺虫剤フロニカミド (IKI-220) のトマトにおける代謝
寛座俊孝、多田康臣、酒井綾子、加藤康之 (石原産業・中央研究所)
- 11:45 A310 殺虫剤カルタップのラットにおける代謝
松井正義¹、味方和樹¹、冨ヶ原祥隆¹、磯部直彦²、三上信可³
(住友化学(株) ¹生物環境科学研究所、²現・技術・経営企画室、³現・日本メジフィジックス(株))

B 会 場 (A12)

午前の部 (9:00~12:00)

- 9:00 B301 殺虫剤テブフェノジドの ELISA キットの開発
山下弘、内ヶ島美枝子、高橋宏幸、門脇篤、伊東茂壽
((株)ホリバ・バイオテクノロジー)
- 9:15 B302 殺菌剤クロロタロニル用 ELISA キットの性能評価及び農作物中残留分析への応用
渡辺栄喜、馬場浩司、殷 熙洙、石坂真澄、上路雅子、遠藤正造
(農業環境技術研究所)
- 9:30 B303 ELISA 法による残留農薬簡易分析におけるキュウリの測定妨害について
天野昭子、矢野秀治 (岐阜県農業技術研究所)
- 9:45 B304 ELISA キットによるクロチアニジン残留分析
畠山えり子、梶田弘子 (岩手県環境保健研究センター)
中野亜弓、折坂光臣 (岩手県農業研究センター)
- 10:00 B305 有機リン系殺虫剤フェントロチオンに対する抗体を用いたイムノアフィニティカラムの開発
上杉明里¹、乾秀之²、土居史人¹、佐々木満¹、大野清春^{1,2}、
大川秀郎^{1,2,3} (¹神戸大・自然科学、²遺伝子実験センター、
³現福山大・グリーンサイエンス研究センター)
- 10:15 B306 イムノアッセイによる数種葉菜・根菜類の残留農薬分析
小林由美、成田伊都美、佐藤賢一、中村幸二
(埼玉県農林総合研究センター)
- 10:30 B307 赤かび病菌の毒素産生をリアルタイムにモニターする系の開発とその応用
落合 則幸¹、東海 武史¹、佐藤 真之^{1,2}、藤村 真²、木村 真¹
(¹理研中央研・微生物代謝制御研究ユニット、²東洋大院生命科・
生命科)
- 10:45 B308 哺乳動物由来の受容体を介したレポーター遺伝子発現系を用いた残留性有機汚染物質のファイトモニタリング
乾秀之¹、祇園景子¹、大川秀郎² (¹神戸大・遺伝子実験センター、
²福山大・グリーンサイエンス研究センター)
- 11:00 B309 外部イオン化法イオントラップ GC / MS / MS を用いた農産物別残留農薬一斉分析
富森聡子、川合啓之、林克弘、田中千晴、前田千恵、大垣有紀
(三重県科学技術振興センター保健環境部)
- 11:15 B310 限外ろ過法を用いた LC/MS/MS による残留農薬一斉分析
畠山えり子、梶田弘子、佐々木陽、高橋悟、菅原隆志、小向隆志
(岩手県環境保健研究センター)

- 11 : 30 B311 HPLC を用いたアラニカルブの作物残留分析法
 - アラニカルブ, メソミル, メソミルオキシムの分別定量法 -
 藪崎隆、澁谷直美、水越一史 (財団法人日本食品分析センター)
- 11 : 45 B312 地域特産農産物における農薬残留濃度予測と実態
 島本文子 (高知県農業技術センター)

午後の部 (13 : 30 ~ 15 : 30)

- 13 : 30 B401 有明海堆積物中の残留性有機汚染物質 (POPs) の鉛直分布
 金倫碩、殷熙洙、崔達旬*、片瀬隆雄**
 (農業環境技術研究所 *韓国農村振興庁 **日本大学生物資源科学部)
- 13 : 45 B402 低吸収品種および活性炭の利用によるキュウリ果実への土壤中ディルドリン
 の吸収抑制
 橋本良子 (東京都農林総合研究センター)
- 14 : 00 B403 ディルドリンの作物吸収抑制資材の開発 II
 殷熙洙、金倫碩、渡邊栄喜、馬場浩司、石坂真澄
 (農業環境技術研究所)
- 14 : 15 B404 粉状活性炭処理によるドリリン系残留農薬のキュウリ果実への吸収抑制
 第2報 活性炭の施用量とその吸着持続効果
 西原英治、阿部慎之介、本間龍一、平田 武*、中野太佳司
 (新潟県農総研園研セ、*味の素ファインテクノ(株))
- 14 : 30 B405 土壌中有機塩素系農薬の逐次抽出
 清家伸康、大谷 卓 (農業環境技術研究所)
- 14 : 45 B406 ドリン類吸収能の作物間差異 (4)
 接木キュウリの果実中ドリリン類濃度に及ぼす台木品種の影響
 大谷 卓、清家伸康 (農業環境技術研究所)
- 15 : 00 B407 保存中における柿試料中のマラソンの安定性
 - 柿成分の影響 -
 荒井雄太、荻山和裕、小林裕子 (日植防研)
- 15 : 15 B408 水稻種子消毒廃液の簡易処理法の開発 (第2報)
 市原 勝、青木 こずえ (高知県農業技術センター)

C 会 場 (A11)

午前の部 (9 : 00 ~ 12 : 00)

- 9 : 00 C301 新規殺ダニ剤 NC-512 に関する研究 (第一報)
 瀧井 新自、稲田 誠、沼田 昭*、村上 博*
 (日産化学工業(株)生物科学研究所、*同物質科学研究所)
- 9 : 15 C302 新規殺ダニ剤 NC-512 に関する研究 (第二報) - 作用機構 -
 中平国光、瀧井新自、村上 博*
 (日産化学工業(株)生物科学研究所、*同物質科学研究所)

- 9 : 30 C303 新規殺ダニ剤シフルメトフェン（ダニサラバ[®]）の作用特性と防除効果
 笹間康弘、高橋宣好、丹絵功男*、宮田哲至、今井哲弥、安藤彰秀
 （大塚化学（株） *協友アグリ（株））
- 9 : 45 C304 栽培期間の短い軟弱野菜における効果的な殺虫剤試験法の検討
 田中 寛、柴尾 学（大阪食とみどり技セ）
- 10 : 00 C305 PCR-Luminex 法によるコムギ赤かび病菌の同定と種構成の解析
 石井英夫、清水基滋*、小澤 徹*、岩間俊太**、吉松英明***、
 Chung W.-H.、西村久美子
 （農環研、*十勝農試、**青森農総研、***大分農林水産研）
- 10 : 15 C306 新規殺菌剤リライアブル[™]フロアブル(AVF-002)のバレイシヨ疫病に対する作用特性および圃場試験による省力的防除法の検討
 佐久間晴彦、波多野広幸、久池井豊、田中桂子、小野田晃治、
 佐野勝彦、櫻井禎、沢田治子
 （バイエルクロップサイエンス結城中央研）
- 10 : 30 C307 新規畑作土壌処理型除草剤 KIH-485 に関する研究（第 4 報）
 - 生物効果と作用特性 -
 本田久志、山地充洋、小林正典、小川安則（クミアイ化学工業）
- 10 : 45 C308 植物におけるピロロキノリンキノン(PQQ)の機能に関する研究
 野地なつ美¹、北畑信隆²、中野雄司²、郷田秀樹²、吉田茂男²、
 辻本雅文²、杉山民二¹、浅見忠男²（¹明治大学院農、²理研）
- 11 : 00 C309 カロテノイド酸化開裂酵素阻害剤によるアブシジン酸生合成の制御
 北畑信隆、韓善榮*、野地なつ美、斎藤臣雄、小林正智、篠崎一雄、
 吉田茂男、辻本雅文、松本正吾、浅見忠男
 （理化学研究所、*韓国化学研究所）
- 11 : 15 C310 Herbicidal and fungicidal activities of allelopathic compound mimosine
 Farah DEBA and Shinkichi TAWATA
 (Faculty of Agriculture, University of the Ryukyus)
- 11 : 30 C311 Plant growth inhibition activity of kava lactones
 Tran Dang XUAN and Shinkichi TAWATA
 (Faculty of Agriculture, University of the Ryukyus)
- 11 : 45 C312 Evaluation of cyclooxygenase inhibitory and antioxidant
 activities of three Chinese medicinal plants: *Sophora
 subprostrata*, *Hemsleya ambillis* and *Hedyotis diffusa*
 ChangweiAO and Shinkichi TAWADA
 (Faculty of Agriculture, University of the Ryukyus)